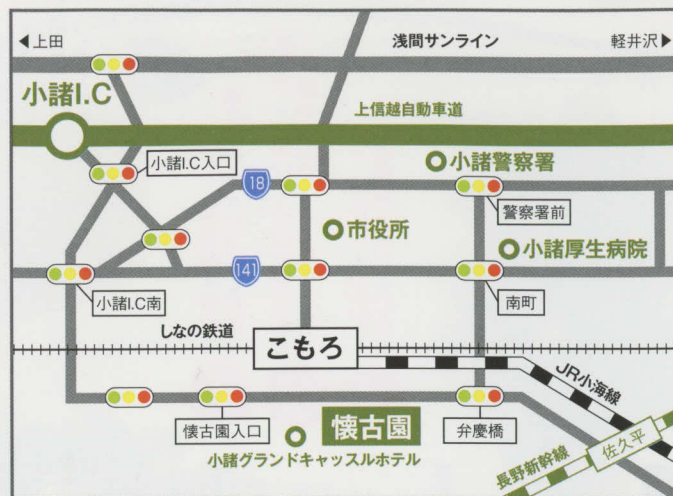


小諸城址

懷古園

日本100名城
日本さくら名所100選



アクセスガイド

鉄道でお越しの方

東京駅	長野新幹線	軽井沢駅	しなの鉄道
	65分		23分
長野駅	長野新幹線	佐久平駅	JR小海線
	75分		15分
			しなの鉄道
			62分

車でお越しの方

練馬 I.C	関越道	藤岡 JCT	上信越道	小諸 I.C
	78.6km		82.1km	

バスでお越しの方

池袋・立川	共同運行(千曲バス・西武高原バス)
新宿	関越道・上信越道
	JRバス

小諸駅から徒歩約3分
上信越道 小諸 I.C から約5分

開園時間

8:30~17:00 動物園 8:30~16:30
遊園地 9:00~17:00(12月~3月中旬は休園)

12月~3月中旬の毎週水曜日・年末年始は休園

入園料

散策券	共通券	駐車場
園内散策・動物園	下記の施設全てがご利用いただけます 園内散策・動物園・藤村記念館・徴古館 小山敬三美術館・小諸義塾記念館	大型 1,500円 普通 500円 自動二輪 200円
個人	個人 団体(20名様以上)	
大人 300円 小人 100円	大人 500円 小人 200円 大人 400円 小人 150円	

無料観光ガイド 小諸市観光案内所 ☎0267-22-0568

※表示金額は消費税込の料金です。

小諸市懷古園事務所

〒384-0804 長野県小諸市丁311
TEL0267-22-0296 FAX0267-25-0296
<http://www.city.komoro.lg.jp/>

小諸城の起こりは、長享元年(一四八七)に、信濃守護小笠原氏の流れをくむ大井光忠が、現在の大手門北側に築いた鍋蓋城であると言われている。

天文二十三年(一五五四)、佐久地方を制圧した武田晴信(のちの信玄)が小諸城を拡張整備し、天正十九年(一五九二)に小諸城に入った仙石秀

久による大改造を経て、現在の姿の小諸城が出来上がった。

元禄十五年(一七〇二)、越後現在の新潟県より牧野康重が入ると、明治維新を迎えるまで牧野氏の居城となったが、維新後は廃城処分となる。荒廃していく小諸城を憂いた旧小諸藩士達は資金を集めて小諸城を払い受け、本丸跡に神社を祀り、花木を植えて

公園にし、懷古園と命名した。

大正十二年(一九二三)、東宮殿下(のちの昭和天皇)が行啓され、懷古園の名が全国に知れ渡るようになると、大正十五年(一九二六)に当時の隅部親信小諸町長が本多静六博士に公園設計を依頼。これにより懷古園は近代的な市民公園に生まれ変わった。

島崎藤村

明治32年(1899)4月、恩師・木村熊二に招かれて小諸義塾の教師として赴任。以降小諸で過ごした7年間に『雲』『千曲川のスケッチ』『薄梅集』『旧主人』などが生まれ、大作『破戒』などが起稿された。



木村熊二

明治期、東京において明治女学校を創設。その後、長野県小諸で小諸義塾を開塾した。牧師として島崎藤村に洗礼を施したことで知られ、のちに藤村を小諸義塾の教師に招いている。



